

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う健幸長寿課の対応について

I. 茨城県の状況（資料3-2参照）

6月8日に「Stage1」となり、高齢者の外出自粛が解除となった。ただし、感染した場合の危険性に変わりがないため、「新たな生活様式」に基づき、感染拡大防止に努める必要性があり、事業内容の転換を図った。

II 事業対応について

1 一般介護予防事業

(1) 介護予防把握事業

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの職員が80歳以上独居と80歳以上高齢者のみ世帯（要介護・要認定者を除く）を対象に、熱中症予防訪問し、要介護、要支援状態に移行する恐れのある虚弱な高齢者の早期に把握する（545人） ・健幸長寿課の職員が79歳独居（要支援・要介護認定者を除く）に訪問し把握する（40人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク保有者が急増する前の75歳・79歳を対象に基本チェックリストを発送し、要介護、要支援状態に移行する恐れのある虚弱な高齢者の早期に把握に努めます。（対象者約1,100人）

(2) 介護予防普及啓発事業

①生きがい活動支援通所事業（げんき館，ミ・ナーデげんき館）

社会福祉協議会に委託

新	旧
<ul style="list-style-type: none">・3月1日（月）から活動休止とし，6月22日（月）から再開・活動時間は10時から12時の2時間に短縮・内容は集団体操（レインボー体操）を実施・参加しない対象者については，健幸長寿課職員の作業療法士とげんき館職員で訪問し，個別指導を行う。	<ul style="list-style-type: none">・活動時間 10時～15時・AM集団体操（レインボー体操），PM作業療法（書道，手芸など）

②専門職による出前講座

- ・サロン等から依頼があると出向いて行う
- ・健幸長寿課の専門職による講話

新	旧
<ul style="list-style-type: none">・1講座 60分未満・歯科衛生士の講座は除く	<ul style="list-style-type: none">・1講座 60分から90分程度

③シルバーリハビリ体操推進事業委託（協働事業）

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・3月1日（月）から活動休止とし，7月1日（水）から準備が整った教室から順次再開 ・「ぱ・た・か」の発声や紙芝居など，大きな声を出すものは行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内 28 か所シルバーリハビリ体操教室にて実施する

④管理栄養士及び歯科衛生士の訪問による個別指導

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の個別指導は，実施方法等，現在検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本チェックリストで，口腔機能リスクや低栄養リスクがある方で，希望者に対して管理栄養士や歯科衛生士が訪問して個別指導を実施。

⑤市民を対象とした介護予防普及啓発講演会

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅でできる体操や低栄養予防のチラシを作成し，4月10日号広報と一緒に，全戸配布を実施 ・体操を3種類，早口言葉などの口腔機能について2種類，脳活ゲームを1種類，市のHPと連動してYouTubeにアップした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向けに講演会を実施。

⑥生き生きげんき運動教室
実施方法等，現在検討中

⑦（重）フレイル予防講座（あした教室）

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅でできる体操や低栄養予防のチラシを作成し，4月10日号広報と一緒に，全戸配布を実施 ・体操を3種類，早口言葉などの口腔機能について2種類，脳活ゲームを1種類，市のHPと連動してYouTubeにアップした。 ・地域で展開する教室については，現在検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸長寿課の専門職が，地域の集落センターなどに出向き，フレイル予防の教室を数回コースで実施

（3）地域介護予防活動支援事業

①（新）認知症予防リーダー養成教室の開始

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・現在講師と日程等調整中 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報で募った希望者と脳わくわくし隊で継続して活動できる人に対して，シナプスソロジーを用いた研修を受講。 ・受講後，サロン等で脳わくわくし隊として，認知症予防の活動を実施。

②介護支援ボランティアポイント

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法等，現在検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者についての研修を受け，特別養護老人ホームなどで，ボランティアを行う。ボランティア活動にポイント制を設けてポイントに応じて，奨励金を支払う

(4) 地域リハビリテーション活動支援事業

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法等，現在検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフへの支援 ・(重) サロンへのリハビリ的技術支援

2 包括的支援事業（社会保障充実分）

(1) 在宅医療・介護連携推進事業

守谷市・取手市・利根町の2市1町で，取手市医師会に委託して実施。

新	旧
<ul style="list-style-type: none"> ・3月から運営推進会議や各WGは活動休止とし，運営推進会議は，6月25日から再開。普及啓発WG等については，再開時期は検討中 ・各市町で実施する市民向けの講演会は中止 ・専門職向け研修会は，zoomなどのICT使用や，小規模に市町ごとに開催するなど検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月運営推進会議や市民や専門職向け普及啓発WG等を実施し，内容等を検討する。 ・市民向けの講演会を2市1町それぞれで実施する

(2) 生活支援体制整備事業

- ・まちづくり協議会の地域福祉部会等で、地域住民の支え合いの仕組みづくりを推進。
- ・6月下旬から地区によって、まちづくり協議会の会議が再開し始めた。

(3) 認知症総合支援事業

① 認知症初期集中支援チーム員活動

- ・特に変更なし

② 認知症の理解を深めるための普及・啓発

新	旧
<ul style="list-style-type: none">・商工会まつりの中止が決定・9月の茨城県認知症を知る月間の内容について、現在検討中	<ul style="list-style-type: none">・9月の茨城県認知症を知る月間に合わせて、守谷市商工会まつりにて、ブースを設け、地域包括支援センターと一緒に知識の普及を行う

③ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

新	旧
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染拡大のため、4月・5月に予定していた認知症徘徊模擬訓練が中止となり、再開については未定である。今後高野地区のまちづくり協議会と調整していく。	<ul style="list-style-type: none">・高野地区のまちづくり協議会と一緒に4月・5月に認知症徘徊模擬訓練を実施

(4) 地域ケア推進事業

新	旧
・3月から5月まで休止とし、6月から再開。3密を避けるため、大きな会場に変更し、見学の介護支援専門員も5人までとする。	・地域ケア個別会議（自立支援）は月1回実施し、ケース検討を行う。同時に介護支援専門員の学習の場として、見学自由とする。